

若疑シク覚候ハバ
我等ノ所業終候処ヲ
爾等眼ヲ開テ看ヨ

11月5日
11月5日、20日発行
第80号
価格50円
定価半額90円(代付)
150円
(送料・半年900円・年1800円)

叛旗

共産主義者同盟

発行所/兼 本社
編集人 伴代美津 発行人 川崎文夫
東京部 新宿区百人町1-11-11
31号 電話 261-160
大阪部 区 9 内 (新) 東区 2-1-1
電話 242-555
東京 162856番 (共) 西 西
/兼 編集委員 佐藤 西 西
社 電話 06(451)4 8 0 3

☆フォード来日阻止闘争
11月18日 3時 狸穴公園
☆日米会談紛争闘争
11月18日 5時 三河台公園

学費闘争の旋回軸は何か

政治東映上の不可避性について

「学費闘争」は、戦後、日本社会の重要な現象の一つとして、その旋回軸を何処に置くべきか、という問題が常に提起されてきた。それは、単に教育制度の改革を論ずるだけでなく、社会主義的イデオロギーの普及と、国家権力の弱体化という政治的課題と深く結びついているからである。

戦後の日本は、経済的成長を遂げたが、同時に社会的不平等も拡大した。教育費の増大は、貧困層の子弟にとって大きな負担となり、社会階級の固定化を招いた。この点から見て、学費闘争は、単なる経済的抗議ではなく、社会正義の要求としての政治的行動である。

政治的イデオロギーの観点から、学費闘争は、国家権力の弱体化を促進する手段として、社会主義者にとって重要な課題である。国家権力が強ければ、教育制度の改革は容易ではない。したがって、学費闘争を通じて、国家権力を弱体化し、社会主義的イデオロギーの普及を図ることが、戦後日本の政治的課題の一つである。

経済的階級疎外を介するもの

学費闘争の背景には、経済的階級疎外の問題がある。戦後の日本は、経済的成長を遂げたが、同時に社会的不平等も拡大した。教育費の増大は、貧困層の子弟にとって大きな負担となり、社会階級の固定化を招いた。この点から見て、学費闘争は、単なる経済的抗議ではなく、社会正義の要求としての政治的行動である。

経済的階級疎外は、社会正義の要求としての政治的行動である。学費闘争を通じて、社会正義の要求を訴え、社会階級の固定化を打破しようとする。これは、戦後日本の政治的課題の一つである。

学費値上げと経済思想

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

外交劇の危機を直視し、フォード来日阻止へ!

日米関係の緊張は、外交劇の危機を招いている。フォード首相の来日阻止は、この危機を直視し、日本社会の利益を守るための重要な行動である。

日米関係の緊張は、外交劇の危機を招いている。フォード首相の来日阻止は、この危機を直視し、日本社会の利益を守るための重要な行動である。

政治理念の混迷と政治実践の質

政治理念の混迷は、政治実践の質を低下させている。政治理念を明確にし、政治実践の質を向上させることが、戦後日本の政治的課題である。

政治理念の混迷は、政治実践の質を低下させている。政治理念を明確にし、政治実践の質を向上させることが、戦後日本の政治的課題である。

フォード訪日と如何に闘うか

フォード訪日への闘争は、如何に闘うかという問題が常に提起されてきた。これは、戦後日本の政治的課題の一つである。

フォード訪日への闘争は、如何に闘うかという問題が常に提起されてきた。これは、戦後日本の政治的課題の一つである。

学費値上げと経済思想

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

政治理念の混迷と政治実践の質

政治理念の混迷は、政治実践の質を低下させている。政治理念を明確にし、政治実践の質を向上させることが、戦後日本の政治的課題である。

政治理念の混迷は、政治実践の質を低下させている。政治理念を明確にし、政治実践の質を向上させることが、戦後日本の政治的課題である。

フォード訪日と如何に闘うか

フォード訪日への闘争は、如何に闘うかという問題が常に提起されてきた。これは、戦後日本の政治的課題の一つである。

フォード訪日への闘争は、如何に闘うかという問題が常に提起されてきた。これは、戦後日本の政治的課題の一つである。

学費値上げと経済思想

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

学費値上げと経済思想

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

学費値上げと経済思想

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

学費値上げと経済思想

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

学費値上げと経済思想

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

学費値上げは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。これは、戦後の日本社会で頻りに繰り返されてきた現象である。

刑法闘争の戦線構築を準備せよ!

憲法—刑法—闘争への序

この闘争は、憲法と刑法の衝突を、単なる法律論争としてではなく、政治的・社会的な闘争として捉えなければならない。憲法は、国家の根本法であり、国民の権利を保障するものである。一方、刑法は、国家の権威を維持し、社会秩序を維持するために制定されるものである。この二つの法が衝突する時、我々国民は、憲法の原則を堅持し、刑法の濫用を防止しなければならない。

政治運動の退潮と民主的契機

政治運動の退潮は、民主的契機を生み出した。我々は、この契機を捉え、憲法と刑法の衝突を政治的闘争へと発展させるべきである。民主的契機とは、国民の権利を保障し、国家の権威を抑制する契機である。我々は、この契機を利用して、憲法の原則を堅持し、刑法の濫用を防止しようとする。

警職法闘争から六〇年へ

警職法闘争は、我々の闘争の先鋒である。我々は、この闘争を通じて、憲法と刑法の衝突を政治的闘争へと発展させるべきである。警職法闘争は、我々の闘争の先鋒であり、我々の闘争の先鋒として、我々の闘争を推進する。

改憲阻止闘争から七〇年へ

改憲阻止闘争は、我々の闘争の先鋒である。我々は、この闘争を通じて、憲法と刑法の衝突を政治的闘争へと発展させるべきである。改憲阻止闘争は、我々の闘争の先鋒であり、我々の闘争の先鋒として、我々の闘争を推進する。

インフレ批判の基礎理論

インフレ批判の基礎理論は、我々の闘争の先鋒である。我々は、この理論を通じて、憲法と刑法の衝突を政治的闘争へと発展させるべきである。インフレ批判の基礎理論は、我々の闘争の先鋒であり、我々の闘争の先鋒として、我々の闘争を推進する。

退化する字彙運動に実践を刻み込め!

立憲書闘争中間報告 矢張り帝戦線

立憲書闘争は、我々の闘争の先鋒である。我々は、この闘争を通じて、憲法と刑法の衝突を政治的闘争へと発展させるべきである。立憲書闘争は、我々の闘争の先鋒であり、我々の闘争の先鋒として、我々の闘争を推進する。

公判日程

公判日程は、我々の闘争の先鋒である。我々は、この日程を通じて、憲法と刑法の衝突を政治的闘争へと発展させるべきである。公判日程は、我々の闘争の先鋒であり、我々の闘争の先鋒として、我々の闘争を推進する。

立憲書闘争の経過と今後の展望。我々は、この闘争を通じて、憲法と刑法の衝突を政治的闘争へと発展させるべきである。立憲書闘争は、我々の闘争の先鋒であり、我々の闘争の先鋒として、我々の闘争を推進する。